会津若松市

生活拠点形成事業計画 生活拠点形成事業等

;	基金設置の有無:	有	設置の時期:	平成20	6年3月	_										平成28年1月時点
										各年度の交付	付対象事業費			復興交付金の		(単位:千円
No.	事業番号 (注1)	事業名 (注2)	地区名施設名	交付 団体	事業 実施 主体	直接/間接	総交付対象 事業費 (注3)	うち、福島県等 以外の者が負 担する額を減じ た額	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	全体事業費 (注4)	復興交付金の 交付を受けた 災害公営住宅 整備事業等 総交 業費 (注5)	全体事業 期間 (注6)	備 考(注7)
1	A - 1 - 1	災害公営住宅整備事業	古川町	県	県	直接	(0) (0 <0>) 0 > <0>	<0>	<0>	<0>	<0>	>	562,122	24 ~	25
2	A - 1 - 2	災害公営住宅整備事業	門田町	県	県	直接	(0)	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	>	1,719,836	24 ~	25
3	A - 1 - 2	災害公営住宅整備事業	門田町	県	県	直接	(671,764) (671,764)) (671,764) O	(671,764) <671,764>	<0>		<0>	671,764		25 ~	26 単年度型
4	◆ A - 1 - 1 - 1	災害公営住宅駐車場整備事業	古川町	県	県	直接	(9,100) (9,100)	(9,100)	(7,500) <7,500>	(1,600) <1,600>		<0>	9,100		25 ~	26 単年度型
5	◆ A - 1 - 2 - 1	災害公営住宅駐車場整備事業	門田町	県	県	直接	(26,250) (26,250)	(26,250)	(26,250) <26,250>	<0>		<0>	26,250		25 ~	26 単年度型
6	A - 1 - 1	災害公営住宅整備事業	古川町	県	県	直接	(140,000) (140,000)	(140,000)	(140,000) <140,000>	<0>		<0>	140,000		25 ~	26 単年度型
7	A - 1 - 3	災害公営住宅整備事業	城北町	県	県	直接	(1,386,210) (1,386,210)) (1,386,210) 0 0	<0>	(1,386,210) 0		<0>	1,386,210		26 ~	28 基金型
8	F - 1 - 1	国道118号交差点改良事業	門田町	県	県	直接	(700,000) <700,000>	(700,000)	<0>	(220,000)	(480,000)	<0>	700,000		26 ~	28 基金型
9	D - 13 - 1	被災者生活支援事業	会津若松市内	県	県	直接	(19,125) 41,997 <61,122>) (19,125) 7 41,997	<0>	(6,789)	(12,336)	41,99 <41,997>	7 61,122		26 ~	30 基金型
10	A - 1 - 4	災害公営住宅整備事業	白虎町	県	県	直接	(1,322,358) (1,322,358)) (1,322,358) 0 0	<0>	(487,540)	(834,818)	<0>	1,322,358		26 ~	28 基金型
11	◆ A - 1 - 3 - 1	災害公営住宅駐車場整備事業	城北町	県	県	直接	(21,420) (21,420)) (21,420) 0	<0>	(21,420)		<0>	21,420		26 ~	28 基金型
12	A - 2 - 1	災害公営住宅家賃低廉化事業	会津若松市内	県	県	直接	(6,204 55,350 <61,554>	55,350	<0>	(6,204) <6,204>	55,350	<0>	61,554		26 ~	27 単年度型
13	A - 3 - 1	東日本大震災特別家賃低減事業	会津若松市内	県	県	直接	(1,451) 9,104 <10,555>	9,104	<0>	(1,451) <1,451>	9,104	<0>	10,555		26 ~	27 単年度型
14	◆ A - 1 - 4 - 1	災害公営住宅駐車場整備事業	白虎町	県	県	直接	(25,568) (25,568)	0	<0>	<0>	(25,568) <25,568>	<0>	25,568		27 ~	28 基金型
					合	計	(4,329,450) 106,451 <4,435,901>	1 106,451	(845,514) 0 <845,514>	(2,131,214) 0 <2,131,214>	64,454	(0 41,99° <41,997>				
						打村交付分)	<0> (4,329,450)		(0) 0 <0> (845,514)	(0) 0 <0> (2,131,214)		(0 (0 (0))			
						· 交 付 分) · 幹 事 業)	106,451 <4,435,901> (4,247,112 106,451	<4,435,901>) (4,247,112)	0 <845,514> (811,764)	0 <2,131,214>	64,454 <1,417,176> (1,327,154)	41,99° <41,997> (0 41,99°)			
						者支援事業等)	<4,353,563> (82,338)	<4,353,563> (82,338) 0 0	<811,764> (33,750) 0	(23,020) 0	(25,568) 0	<41,997> (0)) 0			
	——————————— 都道県名	福島県		旦当部局名		土木部建築	<82,338> 	<82,338>	<33,750>	<23,020>	<25,568>	<0> 担当者	"	森上 直将		
	市町村名			電話番号		024-521						メールフ			omasa_01@pr	ref.fukushima.lg.jp

(様式1-4)

会津若松市 生活拠点形成事業計画 平成25年度 生活拠点形成事業等

省庁名: 国土交通省 平成28年1月時点 ※本様式は同一の交付担当大臣が交付する事業等ごとに作成して下さい

(単位:千円)

								当該年度(注4)		年度間調 (該当する場	整額(注5) 合のみ記載)		
No.	事業番号 (注1)	事業名 (注2)	事業名 地区名 交付 (注2) 地区名 団体	交付 団体	事業 実施 主体	直接/間接	基本 国費率 (a) (注3)	交付対象事業費 ^(b)	交付対象事業費のうち、福島県等以外の者が負担する額を減じた額(c)	うち交付金交付額 基幹事業の場合 (d)=a×b+(c-a×b)/2 避難者支援事業等の場合 (d)=0.8c	年度間 調整額 (国費) (e)	調整後の 交付金 交付額 (f)=d-e	備考
3	A - 1 - 2	災害公営住宅整備事業	門田町	県	県	直接	3/4	(671,764)	(671,764)	(587,793)			
								<671,764>	<671,764>	<587,793>			
4	◆ A - 1 - 1 - 1	災害公営住宅駐車場整備事業	古川町	県	県	直接	-	(7,500)	(7,500)	(6,000)			
								<7,500>	<7,500>	<6,000>			
5	◆ A - 1 - 2 - 1	災害公営住宅駐車場整備事業	門田町	県	県	直接	-	(26,250)	(26,250)	(21,000)			
								<26,250>	<26,250>	<21,000>			
6	A - 1 - 1	災害公営住宅整備事業	古川町	県	県	直接	3/4	(140,000)	(140,000)	(122,500)			
								<140,000>	<140,000>	<122,500>			
		•	I					(845,514)	(845,514)	(737,293)	(0)	(0)	
							合計額	0	0	0	0	0	
								<845,514>	<845,514>	<737,293>	<0>	<0>	

都道県名 福島県	担当部局名	土木部 建築住宅課	担当者氏名	井ノ上 真太郎
市町村名	電話番号	024-521-8049	メールアドレス	inoue_shintaro_01@pref.fukushima.jp

- (注1)「事業番号」は、基幹事業については、「(制度要綱別表の番号)-(同一事業計画中の同種の事業の通し番号)」、避難者支援事業等については、「◆(最も関連する基幹事業の事業番号)ー(最も関連する基幹事業ごとの通し番号)」となるよう記載する。
- (注2)「事業名」は実施する事業の内容がわかるように任意の名称を記載する。
- (注3)「基本国費率」は、各交付担当大臣が定める交付要綱に規定される国費率を指す。(制度要綱第2の1の(3)におけるbと同様)
- (注4)基金を造成して復興交付金事業等を実施する場合、(b)欄には、当該年度に実施する事業の事業費を、(c)欄には事業費のうち福島県等以外の者が負担する額を減じた額を、(d)欄には基金からの取崩額を記載する。
- (注5)「年度間調整額」の(国費)(e)は、前年度に制度要綱第1の7の④に該当した場合に記載する。
- (注6)上段()書きは、前回までに配分された額を記載し、中段には今回申請する額を記載する。なお、下段く >書きについては、自動計算される。

(様式1-4)

会津若松市 生活拠点形成事業計画 平成26年度 生活拠点形成事業等

※本様式は同一の交付担当大臣が交付する事業等ごとに作成して下さい (単位:千円) 年度間調整額(注5) 当該年度(注4) (該当する場合のみ記載) 基本 うち交付金交付額 事業番号 事業名 地区名 国費率 実施主体 交付対象事業費のうち、福 調整後の 直接/間接 No. 備考 基幹事業の場合 (注2) 団体 施設名 (注1) (a) 交付対象事業費 島県等以外の者が負担す 調整額 交付金 $(d)=a \times b + (c-a \times b)/2$ (注3) る額を減じた額 (国費) 交付額 避難者支援事業等の場合 (c) (e) (f)=d-e (d) = 0.8c(1,386,210) (1,386,210) (1,212,933)城北町 A - 1 - 3 災害公営住宅整備事業 県 直接 3/4 <1,386,210> <1,386,210> <1,212,933> (220,000)(220,000)(176,000)門田町 F - 1 - 1 県 |国道118号交差点改良事業 3/5 <220,000> <220,000> <176,000> (1,600)(1,600)(1,280)↑ A - 1 - 1 - 1 災害公営住宅駐車場整備事業 古川町 県 <1,600> <1,600> <1,280> (487,540)(487,540)(426,597)A - 1 - 4 災害公営住宅整備事業 白虎町 県 直接 3/4 <487,540> <487,540> <426,597> (21,420)(21,420)(17,136)◆ A - 1 - 3 - 1 災害公営住宅駐車場整備事業 城北町 直接 <21,420> <21,420> <17,136> (6,204)(6,204)(5,428)12 会津若松市内 県 災害公営住宅家賃低廉化事業 直接 3/4 A - 2 - 1 <6,204> <6,204> <5,428> (1,451)(1,451) (1,088)13 会津若松市内 県 県 A - 3 - 1 東日本大震災特別家賃低減事業 直接 1/2 <1,451> <1,451> <1,088> (2,124,425)(1,840,462) (2,124,425)合計額 <0> <2,124,425> <2,124,425> <1,840,462>

都道県名	福島県	担当部局名	土木部 建築住宅課	担当者氏名	井ノ上 真太郎
市町村名		電話番号	024-521-8049	メールアドレス	inoue_shintaro_01@pref.fukushima.jp

⁽注1)「事業番号」は、基幹事業については、「(制度要綱別表の番号)-(同一事業計画中の同種の事業の通し番号)」、避難者支援事業等については、「◆(最も関連する基幹事業の事業番号)ー(最も関連する基幹事業ごとの通し番号)」となるよう記載する。

⁽注2)「事業名」は実施する事業の内容がわかるように任意の名称を記載する。

⁽注3)「基本国費率」は、各交付担当大臣が定める交付要綱に規定される国費率を指す。(制度要綱第2の1の(3)におけるbと同様)

⁽注4)基金を造成して復興交付金事業等を実施する場合、(b)欄には、当該年度に実施する事業の事業費を、(c)欄には事業費のうち福島県等以外の者が負担する額を減じた額を、(d)欄には基金からの取崩額を記載する。

- (注5)「年度間調整額」の(国費)(e)は、前年度に制度要綱第1の7の④に該当した場合に記載する。
- (注6)上段()書きは、前回までに配分された額を記載し、中段には今回申請する額を記載する。なお、下段く >書きについては、自動計算される。

会津若松市 生活拠点形成事業計画 平成26年度 生活拠点形成事業等

※本様式は同一の交付担当大臣が交付する事業等ごとに作成して下さい (単位:千円) 年度間調整額(注5) 当該年度(注4) (該当する場合のみ記載) 基本 うち交付金交付額 事業番号 事業名 地区名 国費率 実施主体 交付対象事業費のうち、福 調整後の 直接/間接 No. 備考 基幹事業の場合 (注2) 施設名 団体 (注1) 交付対象事業費 島県等以外の者が負担す 調整額 交付金 $(d)=a \times b + (c-a \times b)/2$ (注3) る額を減じた額 (国費) 交付額 避難者支援事業等の場合 (c) (e) (f)=d-e (d) = 0.8c(6,789)(6,789)(6,789)定額 福島市内 県 D - 13 - 1 被災者生活支援事業 直接 <6.789> <6,789> <6,789> (6,789)(6,789)(6,789)合計額 <0> <0> <6,789> <6.789> <6,789>

都道県名	福島県	担当部局名	避難地域復興局生活拠点課	担当者氏名	須賀 明弘
市町村名		電話番号	024-521-8617	メールアドレス	suga akihiro 01@pref.fukushima.lg.jp

- (注1)「事業番号」は、基幹事業については、「(制度要綱別表の番号)-(同一事業計画中の同種の事業の通し番号)」、避難者支援事業等については、「◆(最も関連する基幹事業の事業番号)ー(最も関連する基幹事業ごとの通し番号)」となるよう記載する。
- (注2)「事業名」は実施する事業の内容がわかるように任意の名称を記載する。
- (注3)「基本国費率」は、各交付担当大臣が定める交付要綱に規定される国費率を指す。(制度要綱第2の1の(3)におけるbと同様)
- (注4)基金を造成して復興交付金事業等を実施する場合、(b)欄には、当該年度に実施する事業の事業費を、(c)欄には事業費のうち福島県等以外の者が負担する額を減じた額を、(d)欄には基金からの取崩額を記載する。
- (注5)「年度間調整額」の(国費)(e)は、前年度に制度要綱第1の7の④に該当した場合に記載する。
- (注6)上段()書きは、前回までに配分された額を記載し、中段には今回申請する額を記載する。なお、下段く >書きについては、自動計算される。

会津若松市 生活拠点形成事業計画 平成27年度 生活拠点形成事業等

※本様式は同一の交付担当大臣が交付する事業等ごとに作成して下さい (単位:千円) 当該年度(注4) 年度間調整額(注5) (該当する場合のみ記載) 基本 うち交付金交付額 事業名 (注2) 事業番号 地区名 国費率 交付対象事業費のうち、福 調整後の 実施主体 直接/間接 備考 No. 団体 基幹事業の場合 施設名 (注1) (a) 交付対象事業費 島県等以外の者が負担す 調整額 交付金 $(d)=a \times b + (c-a \times b)/2$ (注3) る額を減じた額 (国費) 交付額 避難者支援事業等の場合 (c) (e) (f)=d-e (d) = 0.8c(480,000)(480,000) (377,500)国道118号交差点改良事業 門田 県 11/20 F - 1 - 1 直接 <480,000> <480,000> (377,500)(834,818) (834,818)(730,465)10 白虎町 県 A - 1 - 4 災害公営住宅整備事業 3/4 <834,818> <834,818> <730,465> 会津若松市内 A - 2 - 1 災害公営住宅家賃低廉化事業 3/4 55,350 55,350 48,431 <55,350> <55,350> <48,431> 13 県 A - 3 - 1東日本大震災特別家賃低減事業 会津若松市内 直接 1/2 9,104 9,104 6,828 <9,104> <9,104> <6,828> (25,568)(25,568)(20,454)14 ◆ A - 1 - 4 - 1 災害公営住宅駐車場整備事業 白虎町 直接 <25,568> <25,568> <20,454> (1,340,386) (1,340,386) (1,128,419)合計額 64,454 64,454 55,259 <0> <1,404,840> <1,404,840> <1,183,678> <0>

都道県名	福島県	担当部局名	土木部 建築住宅課	担当者氏名	森上 直将
市町村名		電話番号	024-521-8049	メールアドレス	morikami_naomasa_01@pref.fukushima.lg.jp

会津若松市 生活拠点形成事業計画 平成27年度 生活拠点形成事業等

※本様式は同一の交付担当大臣が交付する事業等ごとに作成して下さい (単位:千円) 年度間調整額(注5) 当該年度(注4) (該当する場合のみ記載) 基本 うち交付金交付額 事業番号 事業名 地区名 国費率 実施主体 交付対象事業費のうち、福 調整後の 直接/間接 No. 備考 基幹事業の場合 (注2) 施設名 団体 (注1) 交付対象事業費 島県等以外の者が負担す 調整額 交付金 $(d)=a \times b + (c-a \times b)/2$ (注3) 交付額 る額を減じた額 (国費) 避難者支援事業等の場合 (c) (e) (f)=d-e (d) = 0.8c(12,336)(12,336)(12,336)定額 会津若松市内 県 D - 13 - 1 被災者生活支援事業 直接 <12,336> <12,336> <12,336> (12,336)(12,336)(12,336)合計額 <0> <12,336> <12,336> <12,336> <0>

都道県名	福島県担当部局名	避難地域復興局生活拠点課	担当者氏名 類質 明弘
市町村名	電話番号	024-521-8617	メールアドレス <u>suga akihiro 01@pref.fukushima.lg.jp</u>

- (注1)「事業番号」は、基幹事業については、「(制度要綱別表の番号)-(同一事業計画中の同種の事業の通し番号)」、避難者支援事業等については、「◆(最も関連する基幹事業の事業番号)ー(最も関連する基幹事業ごとの通し番号)」となるよう記載する。
- (注2)「事業名」は実施する事業の内容がわかるように任意の名称を記載する。
- (注3)「基本国費率」は、各交付担当大臣が定める交付要綱に規定される国費率を指す。(制度要綱第2の1の(3)におけるbと同様)
- (注4)基金を造成して復興交付金事業等を実施する場合、(b)欄には、当該年度に実施する事業の事業費を、(c)欄には事業費のうち福島県等以外の者が負担する額を減じた額を、(d)欄には基金からの取崩額を記載する。
- (注5)「年度間調整額」の(国費)(e)は、前年度に制度要綱第1の7の④に該当した場合に記載する。
- (注6)上段()書きは、前回までに配分された額を記載し、中段には今回申請する額を記載する。なお、下段く >書きについては、自動計算される。

会津若松市 生活拠点形成事業計画 平成28年度 生活拠点形成事業等

※本様式は同一の交付担当大臣が交付する事業等ごとに作成して下さい (単位:千円) 年度間調整額(注5) 当該年度(注4) (該当する場合のみ記載) 基本 うち交付金交付額 事業番号 事業名 地区名 国費率 実施主体 交付対象事業費のうち、福 調整後の 直接/間接 No. 備考 基幹事業の場合 (注2) 施設名 団体 (注1) 交付対象事業費 島県等以外の者が負担す 調整額 交付金 $(d)=a \times b + (c-a \times b)/2$ (注3) る額を減じた額 交付額 (国費) 避難者支援事業等の場合 (c) (f)=d-e (d) = 0.8c会津若松市内 県 D - 13 - 1 被災者生活支援事業 直接 定額 41,997 41,997 41,997 <41,997> <41.997> <41,997> 合計額 41,997 41,997 41,997 <0> <0> <41,997> <41,997> <41,997>

都道県名	福島県	担当部局名	避難地域復興局生活拠点課	担当者氏名	須賀 明弘
市町村名		電話番号	024-521-8617	メールアドレス	suga akihiro 01@pref.fukushima.lg.jp

- (注1)「事業番号」は、基幹事業については、「(制度要綱別表の番号)-(同一事業計画中の同種の事業の通し番号)」、避難者支援事業等については、「◆(最も関連する基幹事業の事業番号)ー(最も関連する基幹事業ごとの通し番号)」となるよう記載する。
- (注2)「事業名」は実施する事業の内容がわかるように任意の名称を記載する。
- (注3)「基本国費率」は、各交付担当大臣が定める交付要綱に規定される国費率を指す。(制度要綱第2の1の(3)におけるbと同様)
- (注4)基金を造成して復興交付金事業等を実施する場合、(b)欄には、当該年度に実施する事業の事業費を、(c)欄には事業費のうち福島県等以外の者が負担する額を減じた額を、(d)欄には基金からの取崩額を記載する。
- (注5)「年度間調整額」の(国費)(e)は、前年度に制度要綱第1の7の④に該当した場合に記載する。
- (注6)上段()書きは、前回までに配分された額を記載し、中段には今回申請する額を記載する。なお、下段く >書きについては、自動計算される。